

感染状況を踏まえた 今後の対応について

令和2年9月1日



京都府知事 西脇 隆俊



現状と課題

特別警戒基準到達を踏まえた対応(7/31)

★ターゲットを絞った対策

①飲食店 ②大学生 ③重症化リスク

8月の感染状況の傾向

- ▶ 連日、新規感染者が確認されており感染が継続
- ▶ 飲食機会などの割合は依然高い
- ▶ カラオケや高齢者施設での集団感染事例が発生



今後の方向性

→ ターゲットを絞った対策の強化

- ▶ 飲食店＝安心して利用する
- ▶ 大学生＝安心して学生生活を送る
- ▶ 重症化リスク＝感染を防ぐ

新たな対策

→ 医療検査体制の充実・強化

- ▶ PCR検査体制
- ▶ 医療提供体制
- ▶ 入院医療コントロールセンターの強化

新たな目標値の設定



飲食店の対策強化

<安心して利用していただくために>

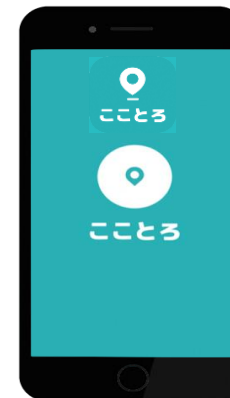
▶ きょうと5ルール^{ファイブ}の周知・徹底

- ★ 事業所、大学生等に対し
改めて周知・徹底



▶ 「こことろ」の普及拡大

- ★ 啓発資材を16,000箇所を送付
- ★ 京都府からの通知
感染者と接触可能性がある利用者
にPCR検査の実施



登録店舗数
15,700

個人登録数
18,700



大学生等の対策強化

<安心して学生生活を送るために>

後期授業に向けた注意喚起

- ▶ 有識者によるメッセージ動画、感染防止ガイダンス

学内施設の感染防止対策の支援

- ▶ 食堂、クラブボックスの感染防止対策
- ▶ 学生寮の相部屋解消のための家賃補助 などを支援

学生を対象としたPCR検査の実施

- ▶ 医療機関や社会福祉施設における**実習の安全を確保**
- ▶ **府立医大や京大等と連携して検査を実施**



重症化リスクのある方の対策強化

<感染を防ぐために>

施設内感染の未然防止

- ▶ 高齢者施設等の職員に対する**研修動画の作成・配付**
- ▶ **自主点検チェックリスト**の作成、配付

積極的なPCR検査の実施

- ▶ 対象施設＝医療機関や高齢者施設など
- ▶ 対象者＝**職員、入院・入所者**など
- ▶ 対象地域＝感染者が多数発生している地域等



医療・検査体制の充実・強化

- ▶ 国及び府の対策本部会議で検査対象を新たに拡大
 - ⇒ 医療機関等で実習する大学生など
 - ⇒ 感染多発地域の高齢者施設等に勤務する職員など
- ▶ インフルエンザの流行による発熱者の増加も想定



- ★ 帰国者・接触者外来等の医療・検査体制を強化
 - ⇒ 検体採取体制の強化
 - ⇒ 臨時衛生検査所の創設などPCR検査能力の拡充
 - ⇒ 感染者の増加に備えるための目標病床数を設定



検査体制の充実・強化

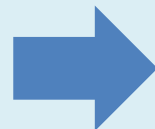
<インフルエンザの流行に備える>

唾液検査

診療所での
検体採取体
制を強化

7月末

114箇所



現在

280箇所



9月末

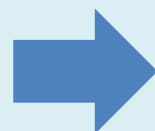
400箇所

PCR検査

臨時衛生検
査所の創設
など

7月末

550件



現在

800件



年内

1,500件



医療崩壊を防ぐために

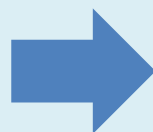
<更なる感染者の増加に備える>

入院病床

病床使用率
(8月31日)
16.3%

7月末

495床



現在

515床



年内

750床

※今後の感染状況等に応じて柔軟に対応

宿泊療養施設

施設使用率(8月31日)
11.2%

現在

338室



今後、新たな施設の確保

入院医療コントロールセンター

- ▶ センター機能の強化と重症者受入病院長会議の定期開催